

謹んで新年のお慶びを申し上げます

新年明けましておめでとうございます。
皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。

新型コロナウイルスの未曾有の災厄により昨年前半は貨物量の激減によりコンテナ船の配船も需要減のリスクを恐れ一時は大減便となりましたが、8月以降は徐々に回復に転じ、昨年11月実績の日本発米国向け往航コンテナ輸送実績（荷受地ベース）で、前年同月比8.6%増の51,579TEUと7カ月ぶりに前年比プラスとなり、前月比では15.5%増と大幅な伸びとなりました。現在もコンテナ船のスペース、コンテナ不足は日本発北米のみならず、世界的に非常に逼迫した状態が続いております。



結果、海上運賃は現在歴史的な高水準に急上昇しており本年度の更改は現在のマーケットに大きな影響を与える事が予想され、外部環境は日々目まぐるしい変化をしております。中国、アジア発着の海上運賃の高騰下でこのような危機的状況において、日本の各荷主様の物流を止めないために、弊社の主力である北米航路のみならず、アジア、欧州、その他地域のドライコンテナ、特殊コンテナにおいても確実なスペース、コンテナの確保に社員一丸となって邁進して参ります。

今一度、皆様方に更なるご支援をお願いしまして新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

ジャパントラスト株式会社
取締役営業統括部長 高橋 晃司



海運豆知識

国際信号機って何？

港にとまっている船や走っている船を見ると、国旗や船会社の旗の他に、マストに色々な形と色の旗を上げていることがよくあります。これは国際信号旗といって、世界中の船で使えるように考えられた旗です。現代のように無線電話や通信衛星などを使って、離れた船どうしが簡単に話をするできるようになっても、大切な通信のための方法なのです。旗なら、言葉がちがう国の船でも意思を伝えあうことができますし、まわりにいる他の船に、一斉に伝えることができます。旗を使って船と船、船と陸とで意思を伝えあうことは、かなり昔から行われていましたが、現在使われている国際信号旗はアルファベットを示す26枚と、数字を示す10枚など、あわせて40枚です。この40枚を色々組みあわせて使いますが、普通は1~4枚の組みあわせで意味が通じるようになっています。例えばアルファベットの「O」の旗なら「人が海に落ちた」、アルファベットの「U」と「W」を続けると「安全な航海をお祈りします」という意味になります。船どうしで旗をあげて、会話ができるのです。



Q&A

Q) 植物検疫とは？

A) 外国から日本に輸入される貨物の中に動植物があります。このなかには、汚染された可能性のある動植物もあり、万が一、病害虫が侵入すると取り返しのつかないことになってしまいます。そのため、日本の「自然や農作物」を守るために動植物に対し検査或いは消毒を実施しています。これを「検疫」といいます。その検疫ですが、水際で被害を食い止めるために本船から降ろされた港で行わなくてははいけません。例えば横浜でコンテナが降ろされて東京回漕などをする場合には必ず横浜で検疫を受けなくてははいけません。そのような事情のある場合には回漕されないようにStop をかける必要があります。また、その検査に関わる費用はすべて荷主様負担となります。万が一、検疫を受けずに貨物が運ばれた場合はペナルティも課せられますのでお気をつけください。弊社は輸入案件も承ります。特にアメリカからの輸入は船社とSCが結んでいきますので、案件がございましたら是非お問い合わせをお願いします。